

日本食品に対する消費者意識アンケート調査 ～イタリア～

2013年3月
日本貿易振興機構(ジェトロ)
農林水産・食品部

目次(イタリア)

調査概要	2
結果のまとめ(要約)	5
回答者属性	7
調査結果	10
1. 外国料理の嗜好・外食の習慣に関する設問	
2. 食品購入に関する設問	
3. 日本産清酒の消費・購入経験、用途、評価に関する設問	
4. 日本産緑茶の消費・購入経験、用途、評価に関する設問	
5. 消費経験があり好きな日本産品に関する設問	
6. 現状輸入が難しい日本産品に関する設問	
設問一覧	46

調査概要

調査概要

調査名 : 日本食品に対する消費者意識アンケート調査

調査目的 : 本アンケート調査は、海外消費者の食品の消費習慣や、日本料理および日本産食品に対する評価等について、生の声を探り、現地消費者の需要を把握するとともに、今後の当該市場への日本産食品の輸出拡大の参考とすることを狙いとする。

期間 : 2012年12月6日～12月20日

調査手法 : インターネット定量調査

対象国 : ①中国(上海市内および上海近郊3都市内(蘇州、杭州、寧波))
②香港
③台湾(台北市内)
④韓国(ソウル市内)
⑤米国(ニューヨーク市内、ロサンゼルス市内)
⑥フランス(パリ市内)
⑦イタリア(ローマ市内)

調査概要

調査対象者： 20～59歳の一般消費者男女のうち、過去に日本食品を購入あるいは
日本料理店を利用したことがあるもの
※原則として現地系住民を対象とした
※在留邦人、留学生、現地駐在員は対象外とした

割付 : 性別、年齢(20代、30代、40代、50代)による均等割り付け

		男性				女性			
		20代	30代	40代	50代	20代	30代	40代	50代
①中国	上海	25	25	25	25	25	25	25	25
	蘇州、杭州、寧波	25	25	25	25	25	25	25	25
②香港		50	50	50	50	50	50	50	50
③台湾(台北)		50	50	50	50	50	50	50	50
④韓国(ソウル)		50	50	50	50	50	50	50	50
⑤米国	ニューヨーク	25	25	25	25	25	25	25	25
	ロサンゼルス	25	25	25	25	25	25	25	25
⑥フランス(パリ)		50	50	50	50	50	50	50	50
⑦イタリア(ローマ)		50	50	50	50	50	50	50	50

結果のまとめ(要約)

結果のまとめ(要約)

天ぷら、サケ、マグロ、米、などの日本産品が好評。
清酒、緑茶は販売店舗が限られている点や認知度に課題。

◆ 好きな外国料理：日本料理がトップ。中国やメキシコ、スペイン料理も人気

- ・好きな日本料理：「日本食 = 寿司」に加え、「焼き鳥」、「天ぷら」も好まれる
- ・日本料理店に行く理由：「味」、「おしゃれ」、「調理法」などが高評価
- ・好きな寿司ネタ：「サケ」が最も人気。「マグロ」の人気も目立つ

◆ 輸入食品等購入時の重要情報源：「友人のすすめ」や「過去の経験」を重視

◆ 日本産清酒：約7割が高い評価。若年層に高い評価が目立つ

- ・日本産清酒の消費経験：全体の7割超が消費経験「あり」と回答。男性、40代では8割超
- ・購入時の重視点：「味の良さ」のほか、日本酒そのものの「新奇性・珍しさ」が根強い
- ・課題：「販売店舗が限られている」

◆ 日本産緑茶：高評価だが消費経験のない回答者が多く、販売店舗の少なさが課題

- ・日本産緑茶の消費経験：飲んだことがない回答者は191名と多い結果に。
理由は「販売店舗を見かけない」
- ・購入時の重視点：「味」、「健康によい」、「新奇性」を重視

◆ 好きな日本産品：米、しょうゆ、寿司が人気。次いでビール、水産品

- ・日本産品の評価：全体の9割以上が高評価。課題は高価格、販売場所、ラベル等
- ・食べてみたい日本産品：「牛肉」、次いで、「桃」、「鶏肉」が人気



イタリアで参照されているサイト、trip advisorは、月間ユニークユーザー数6000万人*、7500万件以上のクチコミ情報を掲載している旅行サイト。



日本食=寿司という認識に加え、現地店舗でサイドメニューとして出される天ぷらも人気である。

回答者属性

回答者属性

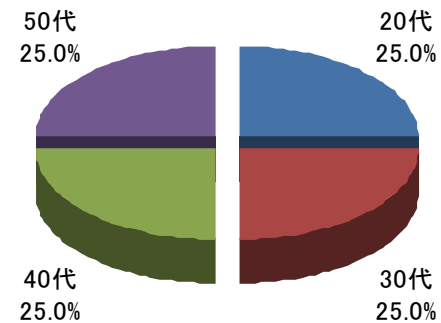
性別

回答者数: 400人



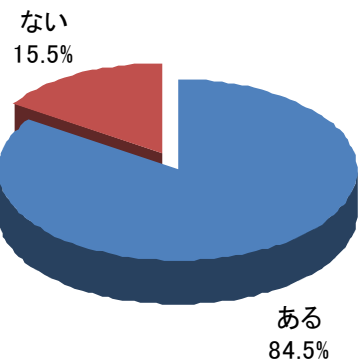
年代

回答者数: 400人



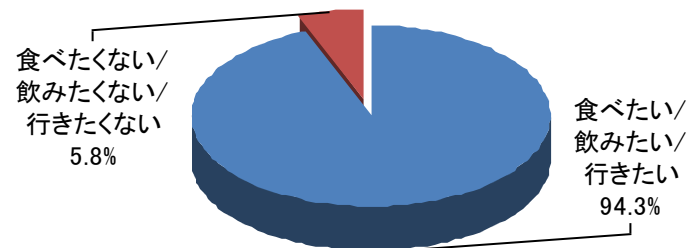
日本食品購入経験

回答者数: 400人



日本食品購入意向

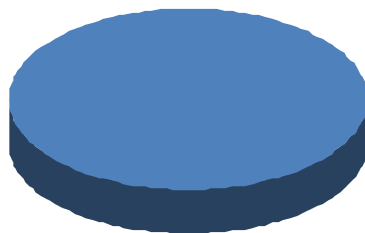
回答者数: 400人



回答者属性

居住地

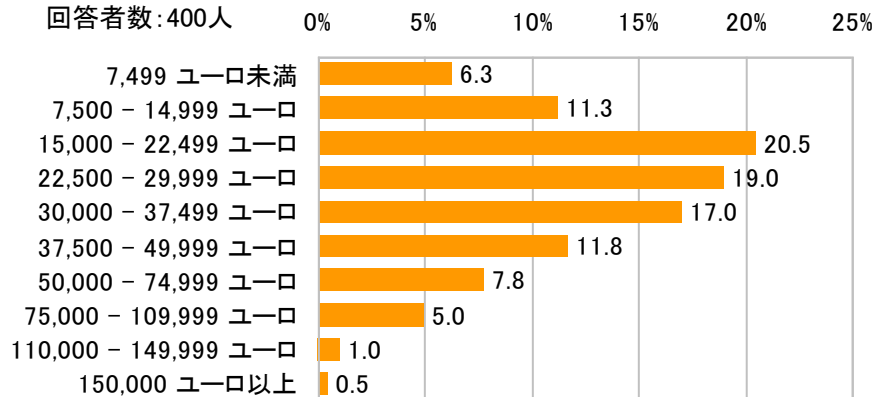
回答者数: 400人



イタリア
(ローマ市内)
100.0%

世帯年収

回答者数: 400人



国籍

回答者数: 400人



調査結果

1. 外国料理の嗜好・ 外食の習慣に関する設問

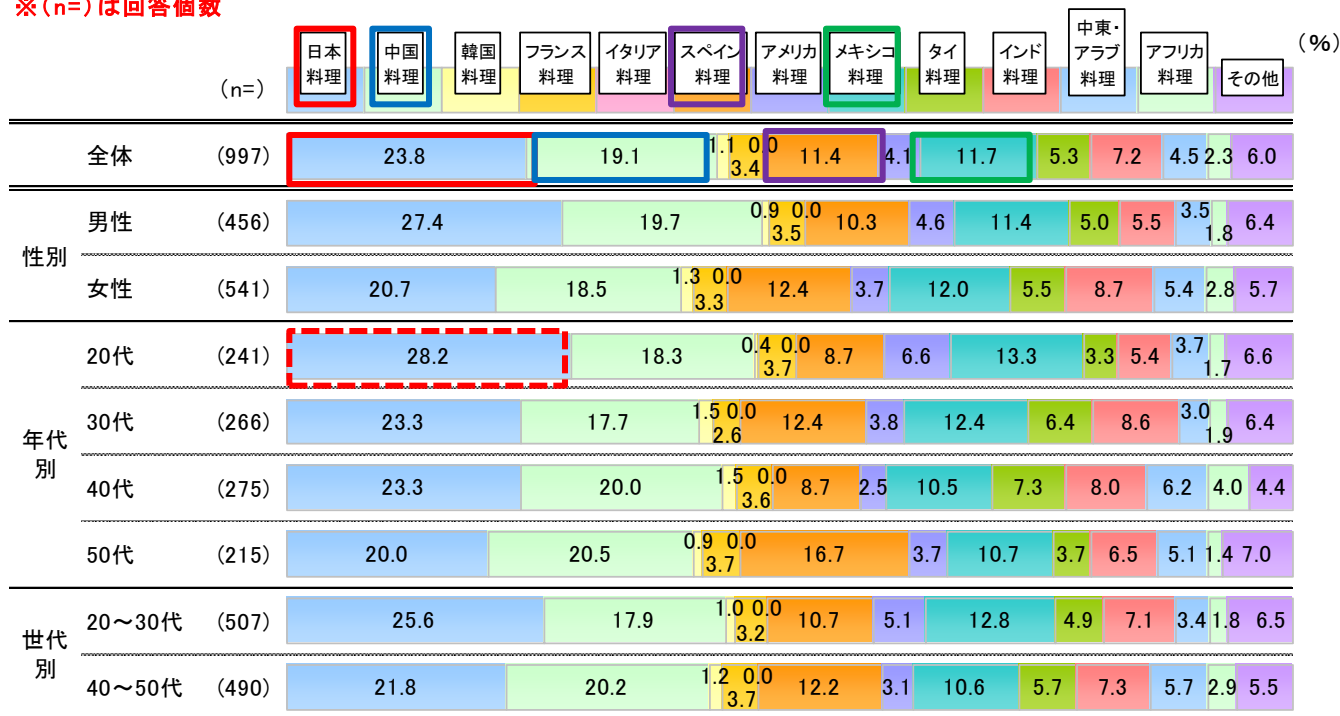
- Q1** 好きな外国料理、外食で食べる外国料理はどれですか。
- Q2** 好きな日本料理のメニューはどれですか。
- Q3** 「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。好きな食材はどれですか。
- Q4** 日本料理店に行く理由を教えてください。

A1 好きな外国料理

日本料理がトップ。次いで中国、メキシコ、スペイン料理が人気

- 全体では、「日本料理」が最も高く23.8%、次いで「中国料理」が19.1%、「メキシコ料理」が11.7%、「スペイン料理」が11.4%となった。
- 性別で「日本料理」をみると、『男性』が27.4%と、『女性』の20.7%を上回った。
- 年代別で「日本料理」をみると、『20代』が最も高く28.2%、次いで、『30代』『40代』が23.3%、『50代』が20.0%となった。20代が日本料理を好んでいるが、近年、10ユーロ台(2,000円前後)で寿司をはじめとするbuffet形式の食べ放題の業態をとる店が増えていることが、若者の集客につながっているもよう。

質問:「好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか(複数回答可)」 ※本設問においては、実施国の料理は選択肢から除外。
 ※(n)は回答個数 ※イタリアの調査においては「イタリア料理」の選択肢を提示していない。



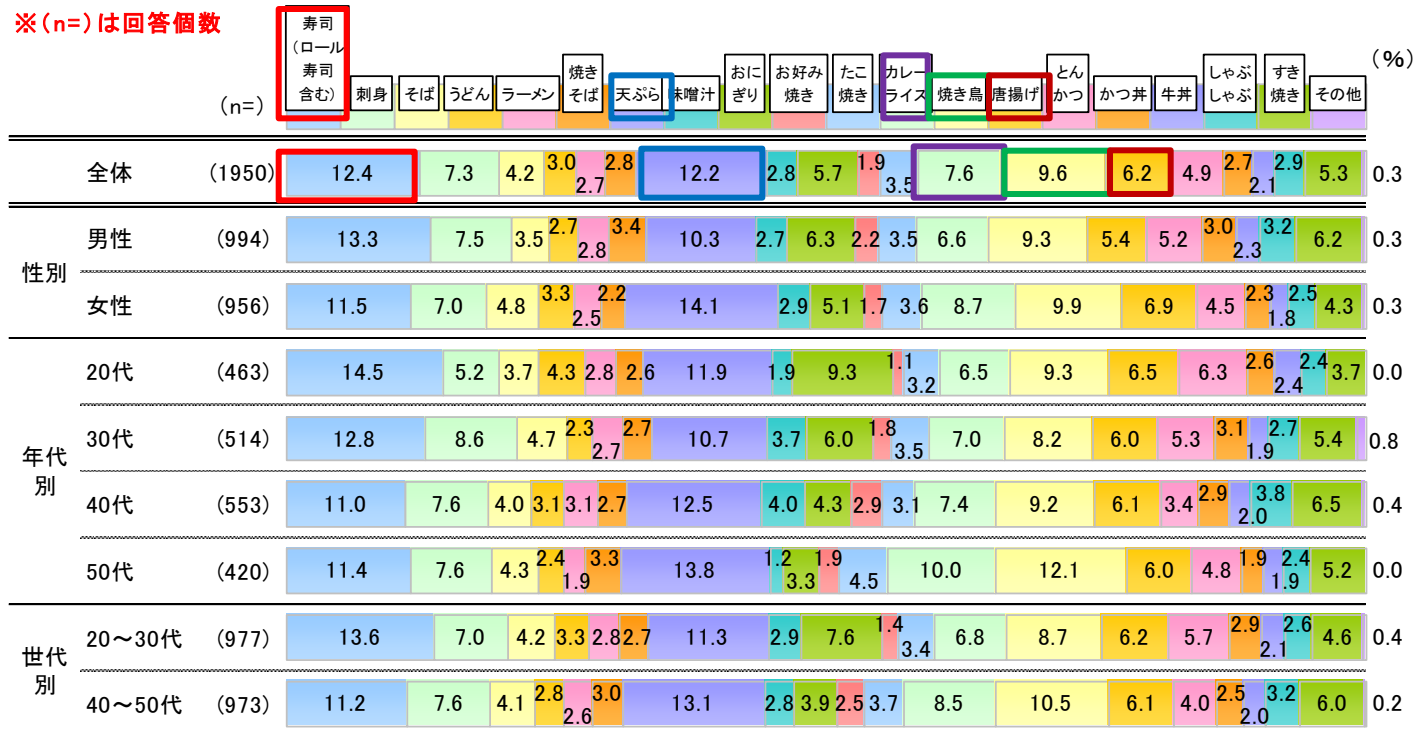
A2 好きな日本料理

「寿司」、「焼き鳥」が人気。特徴的な品目は「天ぷら」、「カレーライス」、「唐揚げ」

- 全体では、「寿司(ロール寿司含む)」が最も高く12.4%、次いで「天ぷら」が12.2%、「焼き鳥」が9.6%、「カレーライス」が7.6%となった。
- 他の本調査対象国・地域の結果と比べると、「天ぷら」の回答割合はイタリアが最も多く、次点である米国の8.6%を上回った。
- 天ぷらはイタリアにおいては、寿司に次ぐ定番メニューであり、広く好まれている。イタリアにおいては、日本料理店イコール寿司店というイメージで定着してきているが、サイドメニューで天ぷら・焼き鳥等を出す店が大半。イタリアの「天ぷら」人気については、野菜や魚介類のフリットを家庭で作るイタリア人にとってなじみやすい料理であることが背景の一つとして考えられる。ジェトロが2012年にイタリアで実施した日本食材取扱店へのインタビューからも近年の売れ筋商品として日本産天ぷら粉が揚げられるなど、消費者に徐々に受容されていることが明らかになっている。

質問:「好きな日本料理メニューはどれですか(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



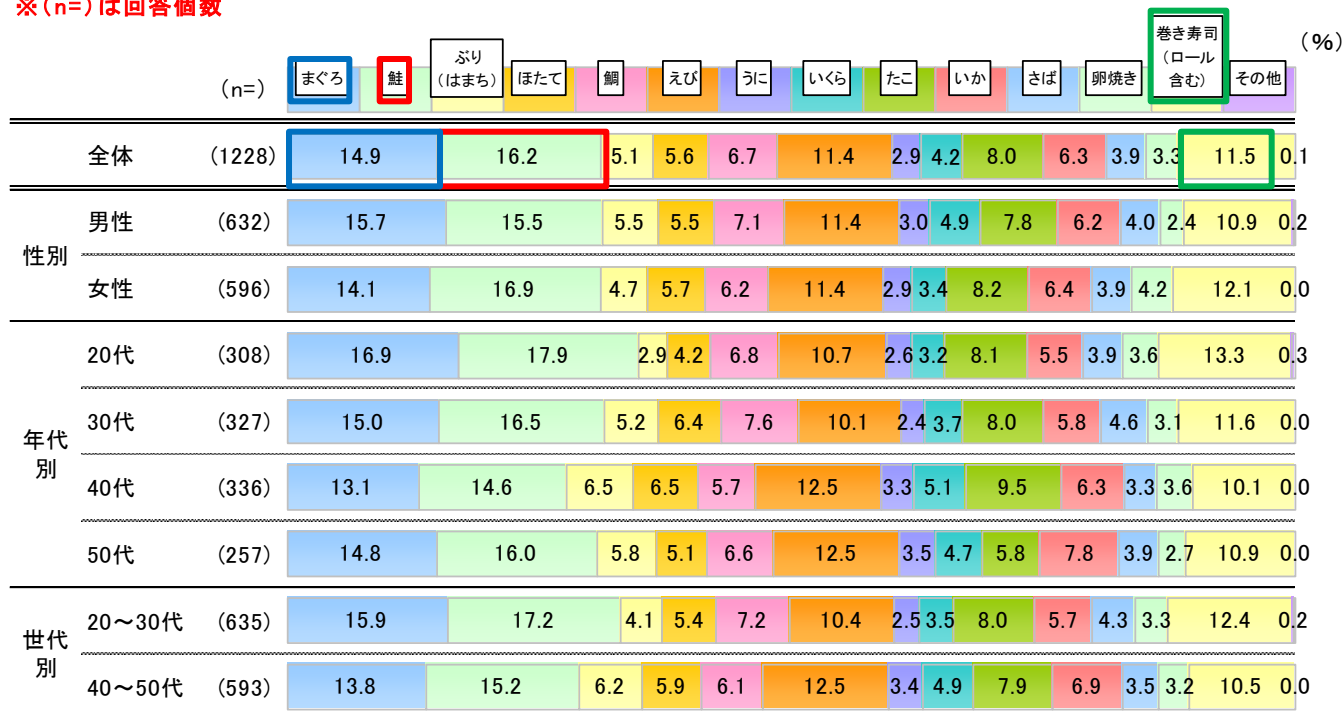
A3 好きな寿司ネタ・刺身

「サケ」が最も人気。次いで「マグロ」、「巻き寿司」

- 全体では、「サケ」が最も高く16.2%、次いで「マグロ」が14.9%、「巻き寿司(ロール含む)」が11.5%となった。
- 他の本調査対象国の結果と比べると、「マグロ」の回答割合はイタリアが最も多く、次点であるフランスの13.2%を上回った。

質問:「好きな日本料理メニューのうち、「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。
好きな寿司ネタ・刺身はどれですか(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



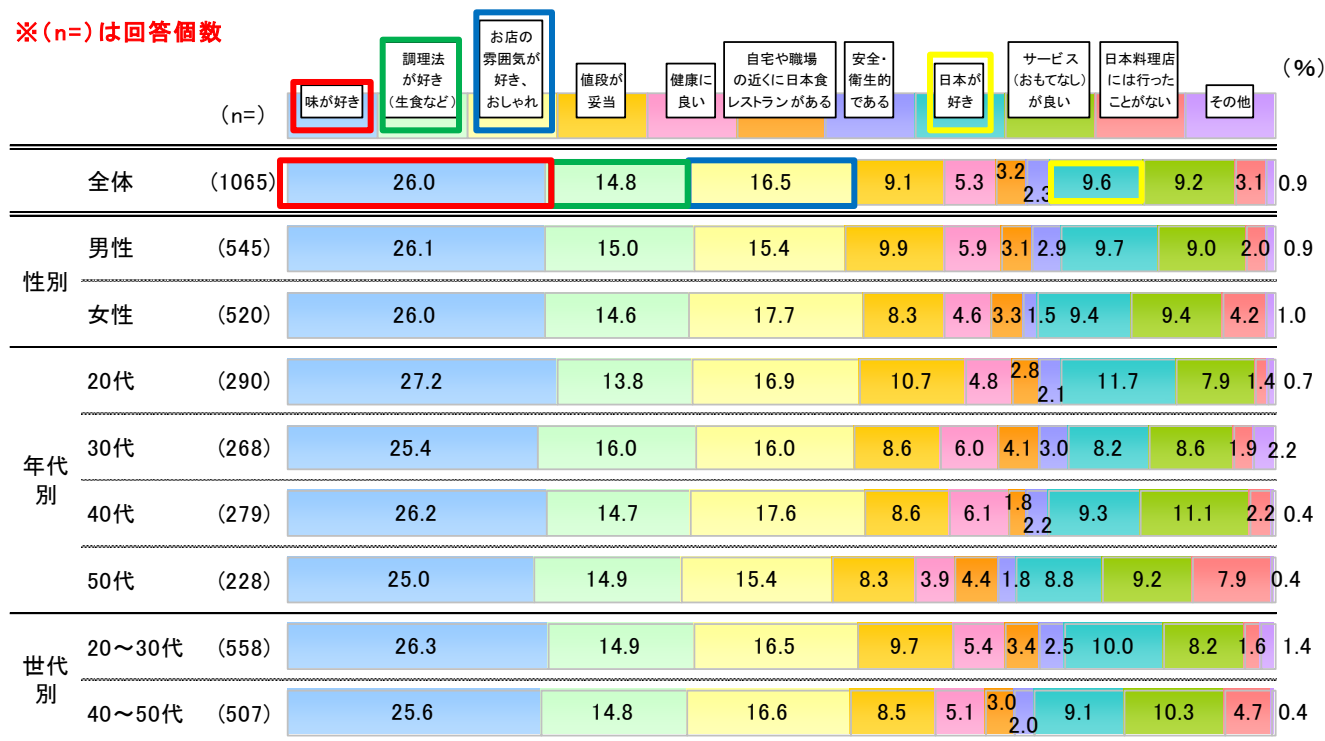
A4 日本料理店に行く理由

「味が好き」、「おしゃれ」、「調理法が好き」など。「日本が好き」の回答も目立つ

- 全体では、「味が好き」が最も高く26.0%、次いで「お店の雰囲気が好き、おしゃれ」が16.5%、「調理法が好き(生食など)」が14.8%となった。
- 全体を他国結果と比べると、「お店の雰囲気が好き、おしゃれ」の回答割合はイタリアが最も多く、次点である韓国の14.3%を上回った。

質問:「日本料理店に行く理由を教えてください(複数回答可)。」

※(n=)は回答個数



2. 食品購入に関する設問

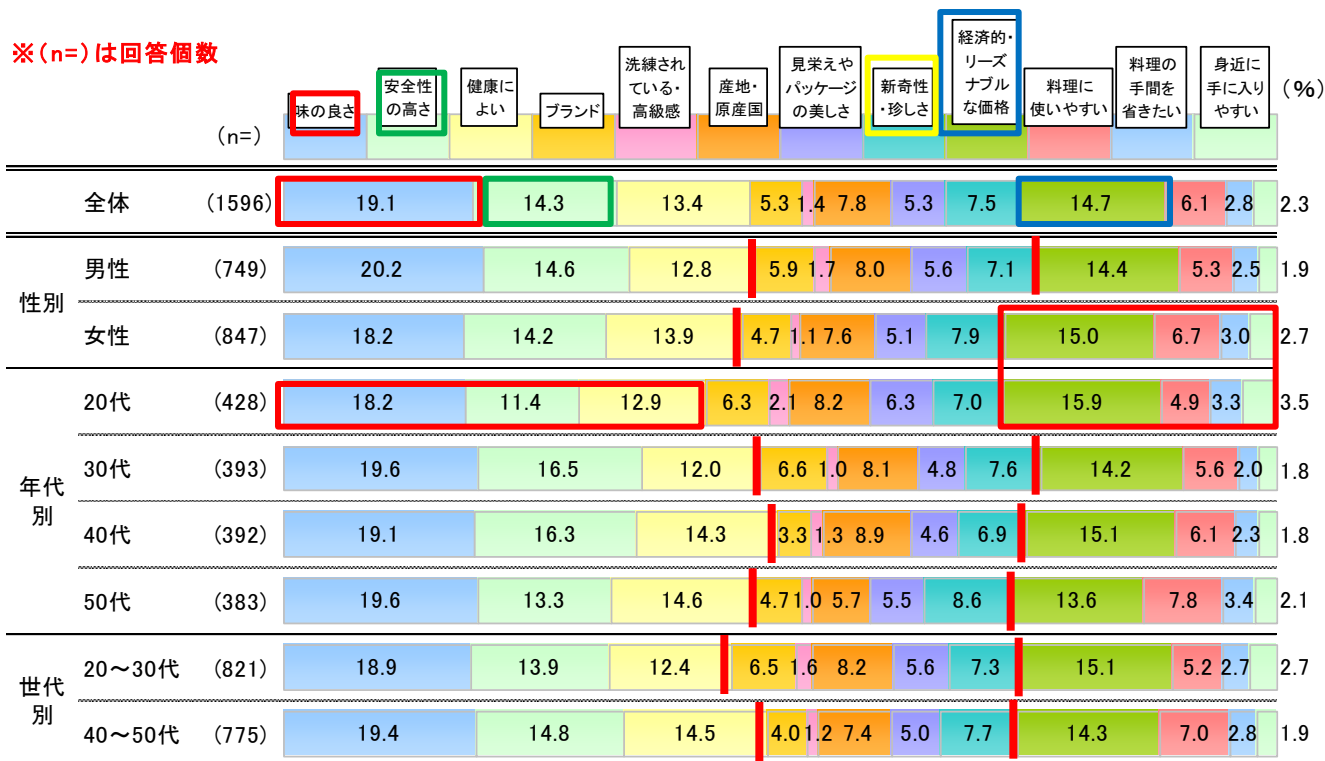
- Q5** 日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。
日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか。
- Q6** 日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。
輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか。
- Q7** 具体的に参考にされているサイトを教えてください。

A5 食品購入時の重視点

「味の良さ」を最重要視。「新奇性」重視が特徴的傾向

- 全体では、「味の良さ」が最も高く19.1%、次いで「経済的・リーズナブルな価格」が14.7%、「安全性の高さ」が14.3%となった。
- 「味の良さ」、「安全性」、「健康によい」など品質的な要求は、『20代』では少ない傾向。
一方、「料理に使いやすい」、「料理の手間を省きたい」、「身近に手に入りやすい」など生活的な要求は、『女性』や『20代』でみられる。

質問:「日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか(複数回答可)。」

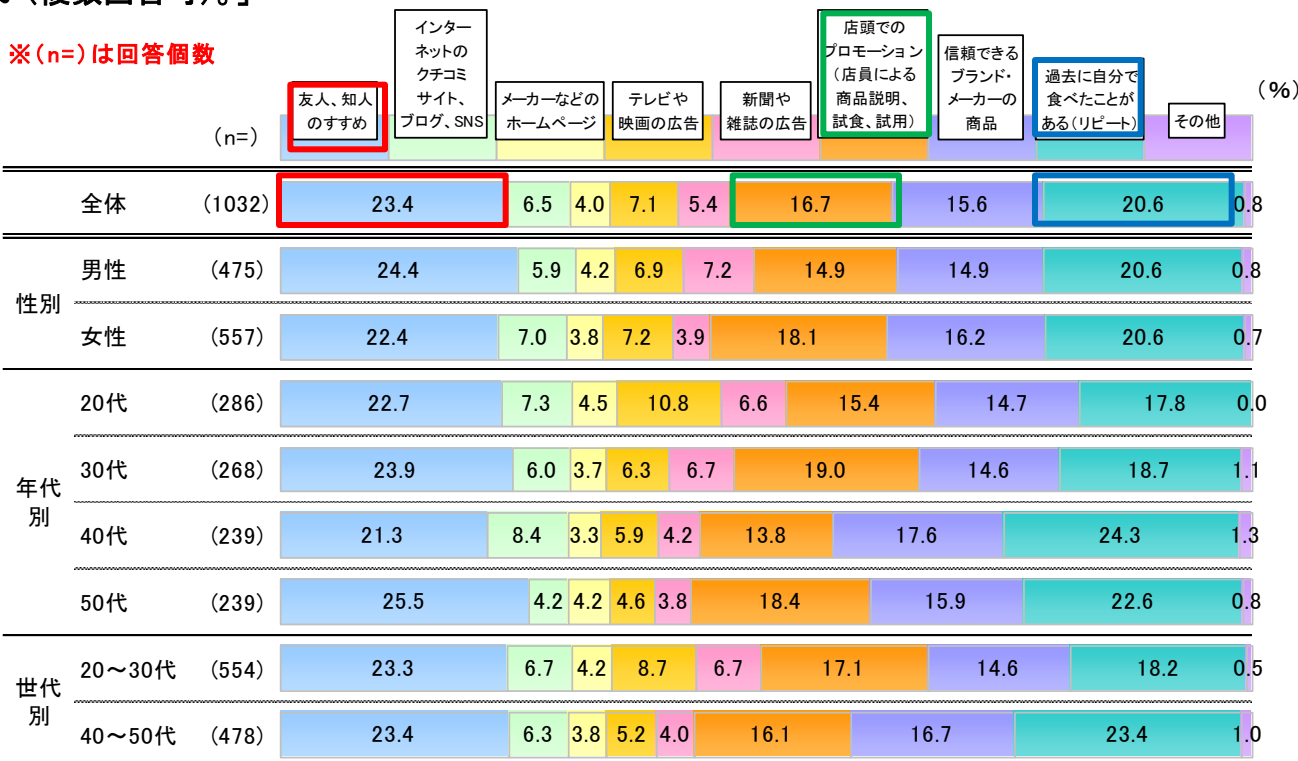


A6 輸入食品等購入時の情報源

「友人、知人のすすめ」を重要視。次いで「過去の飲食経験(レポート)」

- 全体では、「友人、知人のすすめ」が最も高く23.4%、次いで「過去に自分で食べたことがある(レポート)」が20.6%、「店頭でのプロモーション(店員による商品説明、試食、試用)」が16.7%となった。
- 「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」は低く、全体で6.5%であった。
- 性別で「友人、知人のすすめ」をみると、『男性』が24.4%と、『女性』の22.4%を上回った。
- 年代別で「友人、知人のすすめ」をみると、『50代』が最も高く25.5%、次いで『30代』が23.9%、『20代』が22.7%となった。
- 世代別で「友人、知人のすすめ」をみると、『40～50代』が23.4%と、『20～30代』の23.3%を上回った。

質問:「日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか(複数回答可)。」



A7 輸入食品等購入時の情報源(SNS、サイト名) 情報収集源とするインターネットサイトでは、「trip advisor」がトップ

- 輸入食品の購入時の情報源について「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」と回答した人数は41人、回答個数は43となった。
- 参照サイトをみると、「trip advisor」が8点で最も高く、次いで「giallozafferano」、「Google」となった。
- 輸入食品等の購入に関して、サイト等で調べるという話は一般的ではないと思われる。話好き、携帯好きの国民性から、スマートフォンの普及が高まるにつれ、今後サイトを重要な情報源として使用する可能性はあると見受けられる。

質問:「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」と回答した方にお聞きします。
具体的に参考にされているサイトを教えてください。」

全体

国名	回答者数	回答個数
中国	293	369
香港	121	144
台湾	134	177
韓国	150	206
米国	74	97
フランス	43	43
イタリア	41	43

イタリア

サイト名	回答個数
trip advisor (観光情報サイト)	8
giallozafferano (レシピサイト)	4
Google (検索サイト)	3
2spaghi (情報サイト)	2
ciao (ポータルサイト)	2
facebook (SNS)	2
yahoo (ポータルサイト)	2



月間ユニークユーザー数6000万人*、7500万件以上のクチコミ情報を掲載している旅行サイト。

3. 日本産清酒の消費・購入経験、用途、評価に関する設問

- Q8 あなたは、日本産清酒を購入したことがありますか。
- Q9 日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。
- Q10 日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。
- Q11 あなたは、日本産清酒を飲んだことがありますか。
- Q12 あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。
- Q13 日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
- Q14 日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。

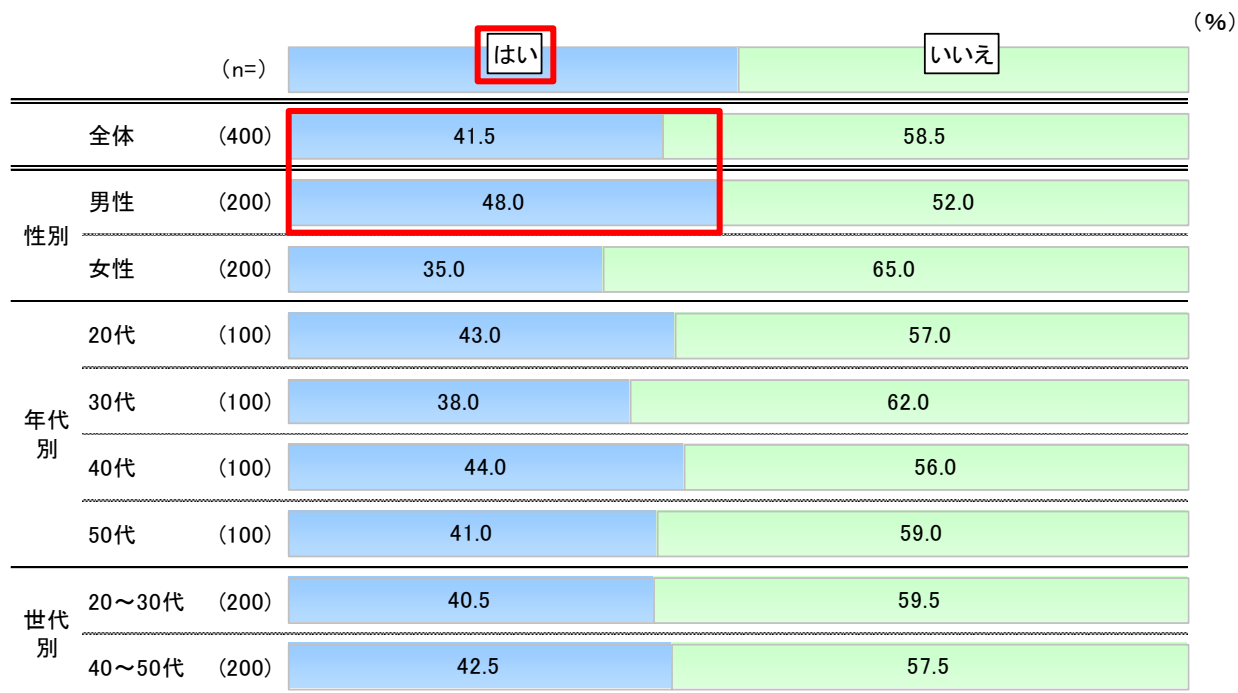
A8 日本産清酒の購入経験

全体の4割が購入経験あり。男性では半数近くが購入経験あり

- 全体では、「いいえ(購入経験なし)」が58.5%と、「はい(購入経験あり)」の41.5%を上回った。
- 性別で「いいえ」をみると、『女性』が65.0%と、『男性』の52.0%を上回った。
- 年代別で「いいえ」をみると、『30代』が最も高く62.0%、次いで、『50代』が59.0%、『20代』が57.0%となった。
- "SAKE"という呼び名はかなり浸透しているが、販売している店舗数は少ない。ブランドについては、ビールでいうところの、"ASAHI"や"KIRIN"といったメーカー名は認知されているものの、清酒についてはほとんど知られておらず、吟醸酒等の種類についても知識は乏しい。

質問:「あなたは、日本産清酒(日本酒)を購入したことがありますか。」

※(n=)は回答者数



A9 日本産清酒の用途

「家庭用・自分用」の割合が高く、30代に顕著な傾向

- 全体では、「家庭用・自分用」が79.1%と、「贈答用・お土産用」の20.9%を上回った。
- 性別で「家庭用・自分用」をみると、『男性』が81.9%と、『女性』の75.0%を上回った。
- 年代別で「家庭用・自分用」をみると、『30代』が最も高く87.5%、次いで、『50代』が81.0%、『20代』が76.6%となった。

質問:「日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)」

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答個数



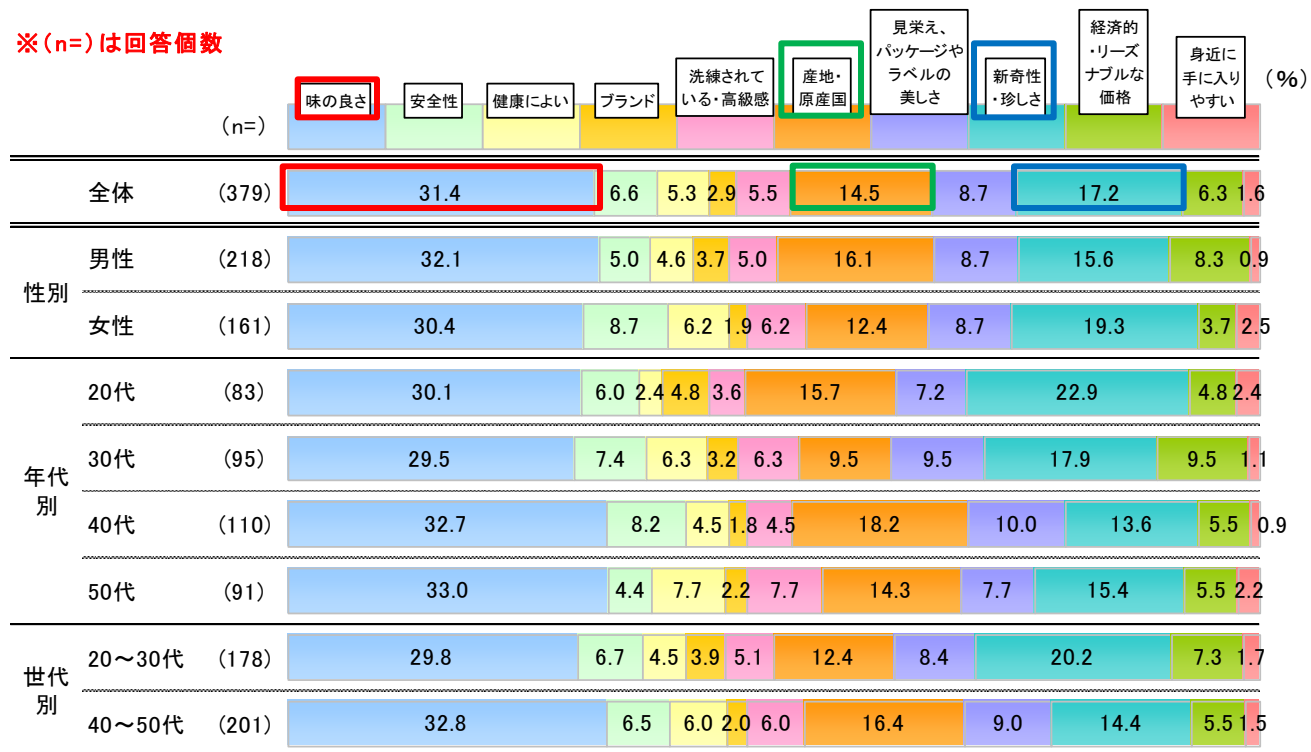
A10 日本産清酒購入時の重視点

「味の良さ」を最も重視。次いで「新奇性・珍しさ」、「産地・原産国」

●全体では、「味の良さ」が最も高く31.4%、次いで「新奇性・珍しさ」が17.2%、「産地・原産国」が14.5%となった。

質問:「日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象

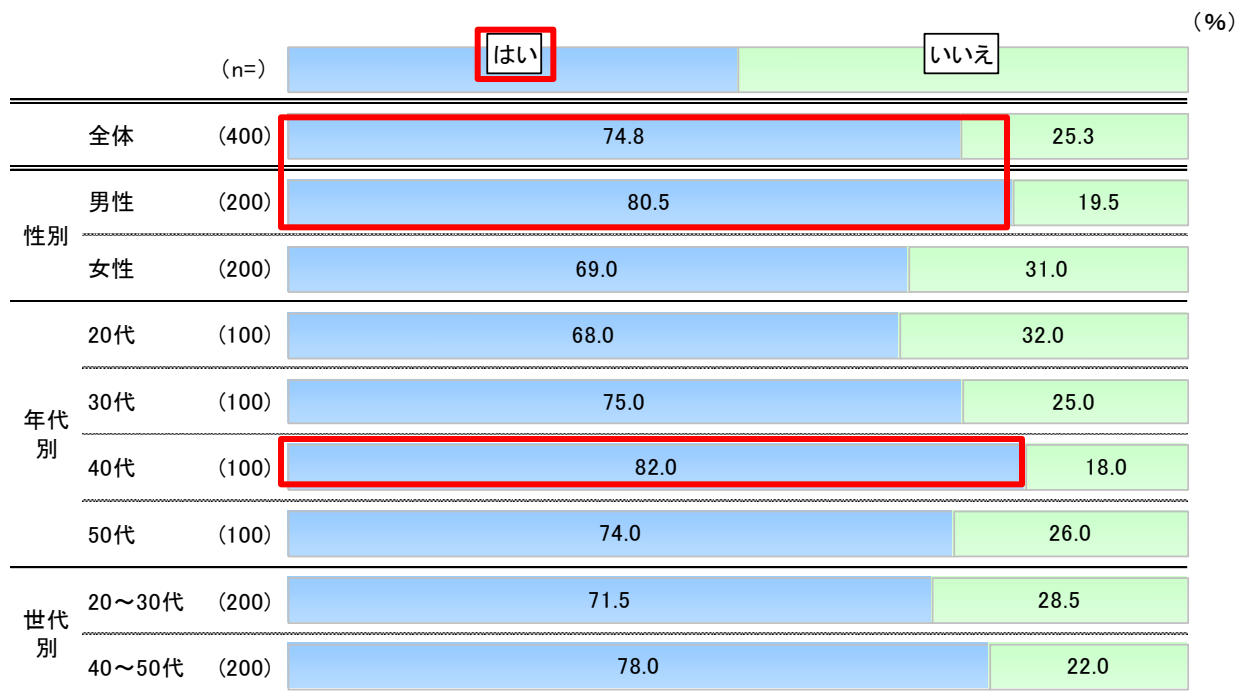
A11 日本産清酒の消費経験

全体の7割超が消費経験「あり」と回答。男性、40代では8割超

- 全体では、「はい(消費経験あり)」が74.8%と、「いいえ(消費経験なし)」の25.3%を上回った。
- 性別で「はい」をみると、『男性』が80.5%と、『女性』の69.0%を上回った。
- 年代別で「はい」をみると、『40代』が最も高く82.0%、次いで『30代』が75.0%、『50代』が74.0%となった。

質問:「あなたは、日本産清酒(日本酒)を飲んだことがありますか。」

※(n=)は回答者数



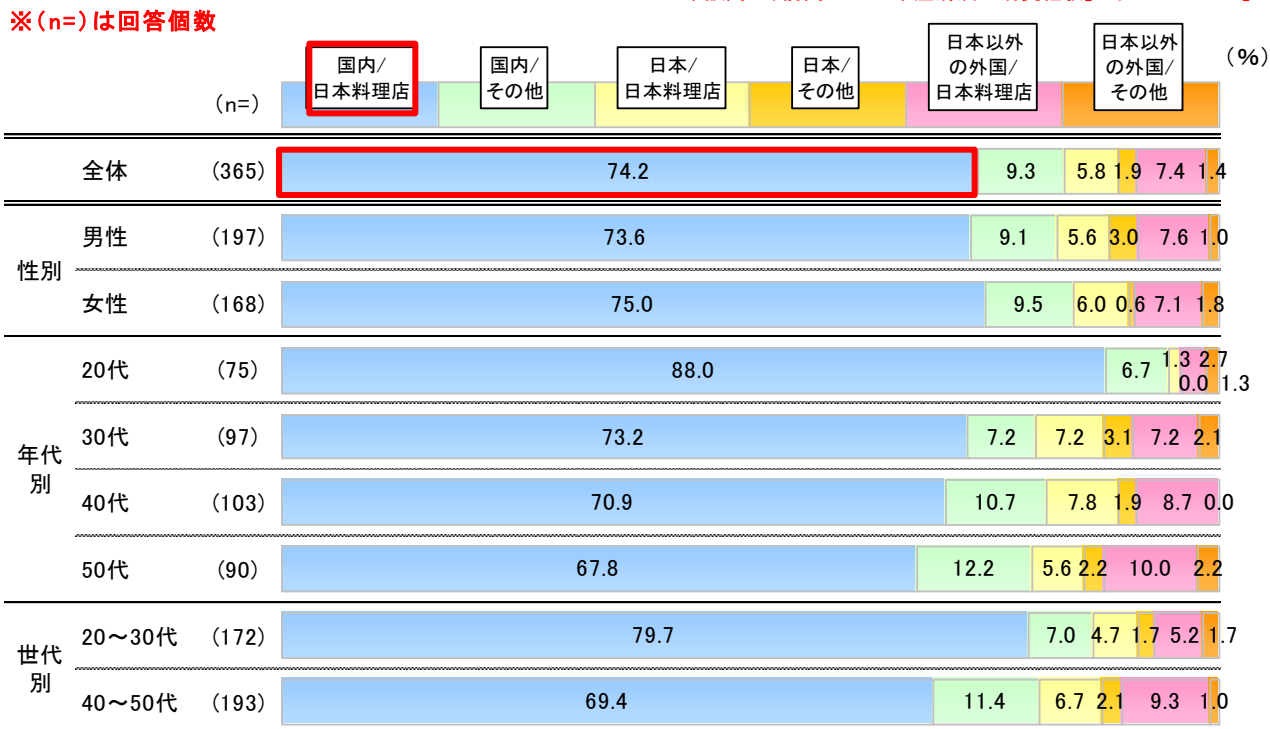
A12 日本産清酒の消費場所

7割超が「国内/日本料理店」で消費。アジアとの違い鮮明に

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く74.2%。
- 年代別で「国内/日本料理店」をみると、『20代』が最も高く88.0%、次いで、『30代』が73.2%、『40代』が70.9%となった。
- 他の本調査対象国との比較では、アジアと比べて、イタリア、フランス、米国では清酒の消費場所は「国内/日本料理店」の割合が高く、「日本/日本料理店」の割合が低い傾向にある。

質問:「あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)」

※本設問は、前問の「日本産清酒の消費経験」において「はい」と回答した方のみを対象。



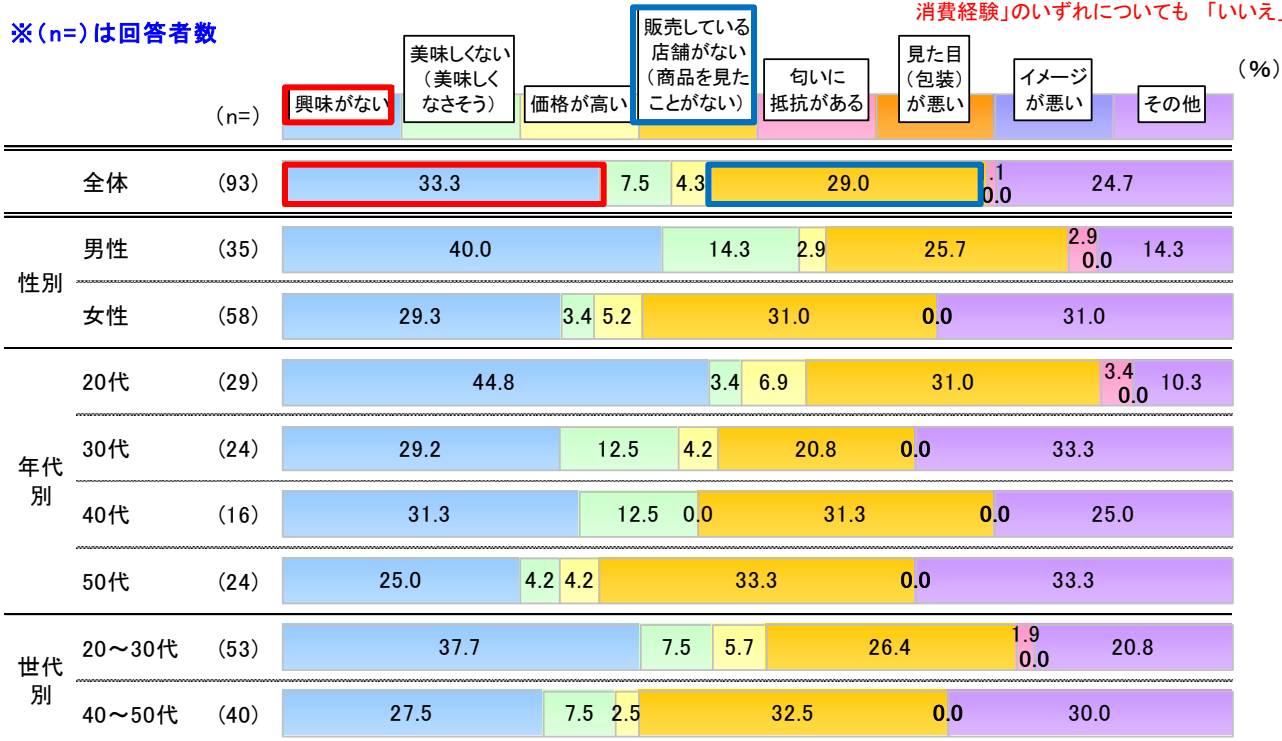
A13 日本産清酒を飲んだことがない理由

「興味がない」が主な理由。「販売店舗を見かけない」欧米では最多

- 全体では、「興味がない」が最も高く33.3%、次いで「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」29.0%、「おいしくない(おいしくなさそう)」7.5%となった。
- 性別で「興味がない」をみると、『男性』が40.0%と、『女性』の29.3%を上回った。
- 他の本調査対象国・地域の結果と比べると、「販売店舗を見かけない」の回答割合は中国の40.7%に次いでイタリアが多い。フランスが7.1%、米国が14.4%である点を踏まえると、特に高い数値であるといえる。

質問:「日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのは何故ですか。」

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」および「日本産清酒の消費経験」のいずれについても「いいえ」と回答した方のみを対象



A14 日本産清酒を飲んだ評価

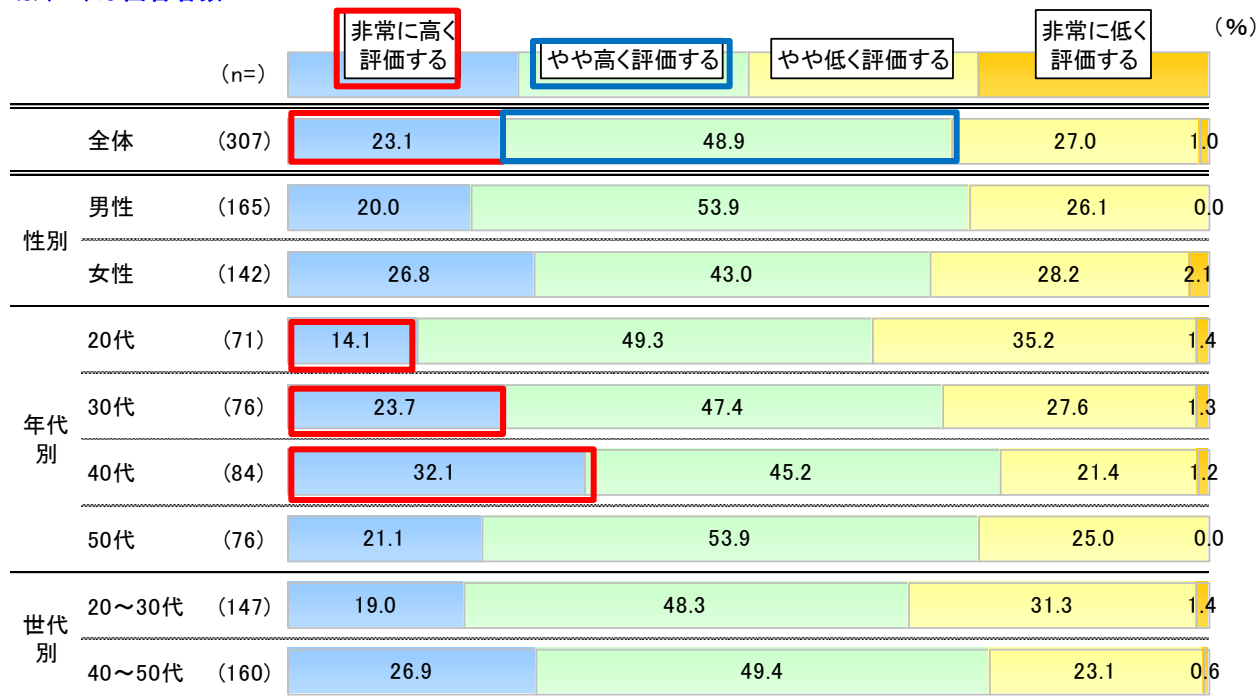
全体で7割超が高評価。「非常に高く評価する」年代は高年齢層の傾向

- 全体では、「やや高く評価する」が最も高く48.9%、次いで「やや低く評価する」が27.0%、「非常に高く評価する」が23.1%となった。
- 性別で「やや高く評価する」をみると、『男性』が53.9%と、『女性』の43.0%を上回った。
- 年代別で「やや高く評価する」をみると、『50代』が最も高く53.9%、次いで『20代』が49.3%、『30代』が47.4%となった。

質問:「日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒(日本酒)を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。」

※本設問は、前問の「日本産清酒の購入経験」あるいは「日本産清酒の消費経験」のいずれかに「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答者数



4. 日本産緑茶の消費・購入経験、用途、評価に関する設問

- Q15 あなたは、日本産緑茶を購入したことがありますか。
- Q16 日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。
- Q17 日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。
- Q18 あなたは、日本産緑茶を飲んだことがありますか。
- Q19 あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きします。飲んだ場所はどこですか。
- Q20 日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
- Q21 日本以外の他国産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。

A15 日本産緑茶の購入経験

全体の4割超が購入経験あり。30～40代、女性が中心

- 全体では、「いいえ(購入経験なし)」が56.3%と、「はい(購入経験あり)」の43.8%を上回った。
- 性別で「いいえ」をみると、『男性』が59.5%と、『女性』の53.0%を上回った。
- 年代別で「いいえ」をみると、『50代』が最も高く64.0%、次いで『20代』が61.0%、『40代』が52.0%となった。

質問:「あなたは、日本産緑茶(日本茶)を購入したことがありますか。」

※(n=)は回答者数



A16 日本産緑茶の用途

およそ8割が「家庭用・自分用」に購入（うち50代は9割弱）。

- 全体では、「家庭用・自分用」が79.3%と、「贈答用・お土産用」の20.7%を上回った。
- 性別で「家庭用・自分用」を見ると、『女性』が81.6%と、『男性』の76.8%を上回った。
- 年代別で「家庭用・自分用」を見ると、『50代』が最も高く87.5%、次いで『20代』が79.1%、『30代』が76.7%となった。

質問：「日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。（複数回答可）」

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答個数



A17 日本産緑茶購入時の重視点

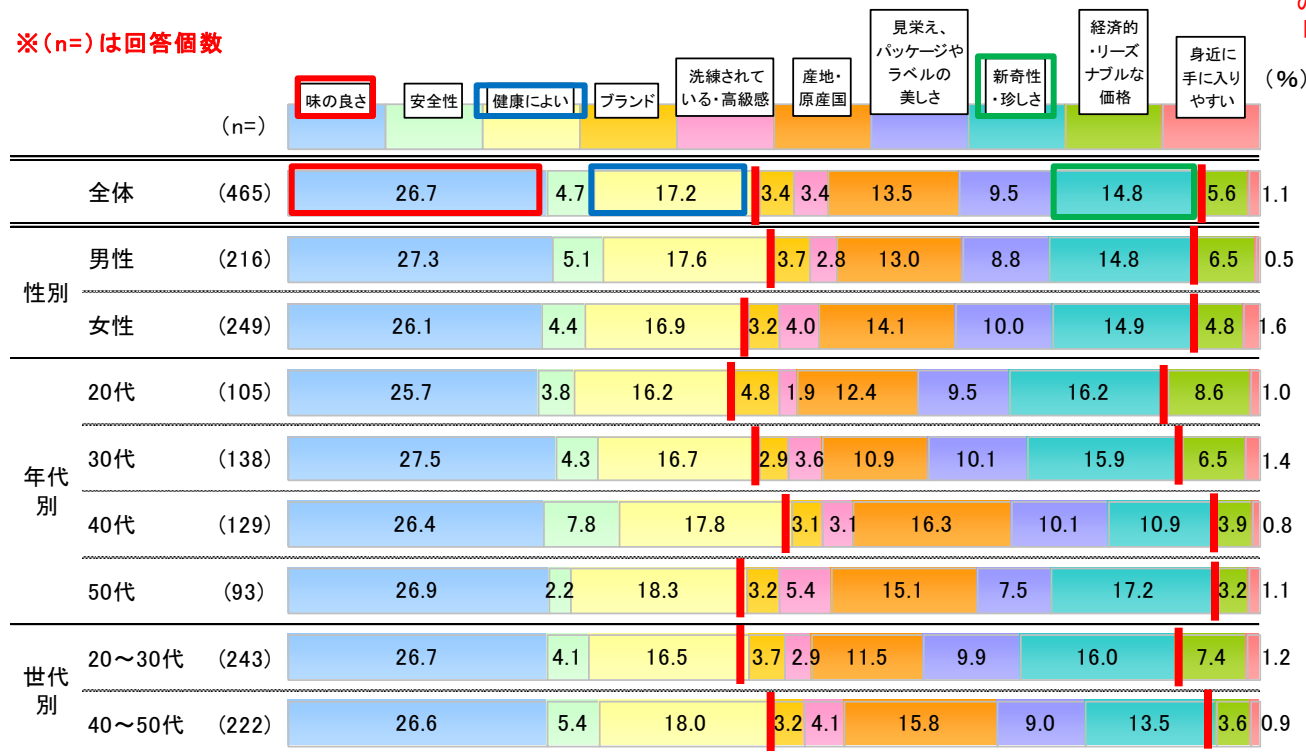
日本産緑茶の購入については、「味の良さ」、「健康に良い」、「新奇性」を重視

●「味の良さ」が最も高く26.7%、次いで「健康に良い」が17.2%、「新奇性・珍しさ」が14.8%となった。

質問:「日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)」

※(n)は回答個数

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」において「はい」と回答した方のみを対象



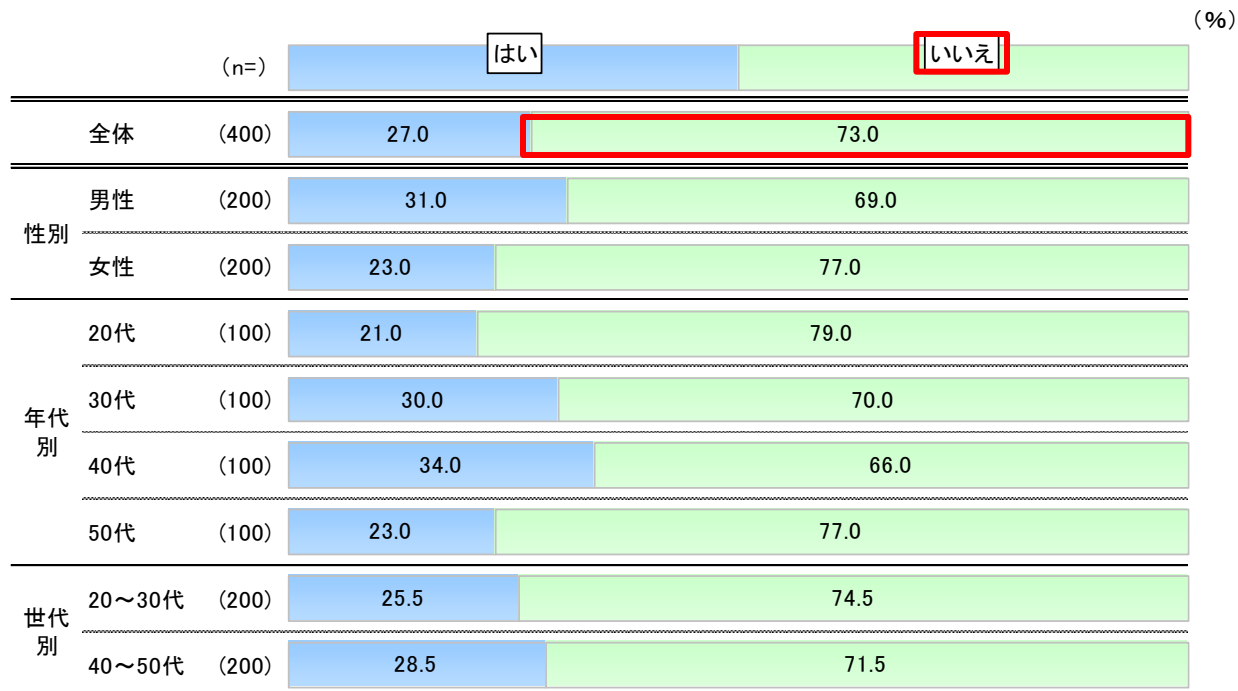
A18 日本産緑茶の消費経験

7割が日本産緑茶の消費経験「なし」と回答

- 全体では、「いいえ(消費経験なし)」が73.0%と、「はい(消費経験あり)」の27.0%を上回った。
- 他の調査対象国の調査結果と比べると、「いいえ」の回答割合はイタリアが最も多く、次点である韓国の57.5%を大きく下回った。
- イタリア人が頻繁に使用するバーには、紅茶はあっても日本産緑茶は置いておらず、日本産緑茶が飲める場所は日本料理店か自宅となるため、消費経験が少ないと思われる。また、一般にイタリアでは、茶に関してはハーブティーや紅茶が好まれている。

質問:「あなたは、日本産緑茶(日本茶)を飲んだことがありますか。」

※(n=)は回答者数



A19 日本産緑茶の消費場所

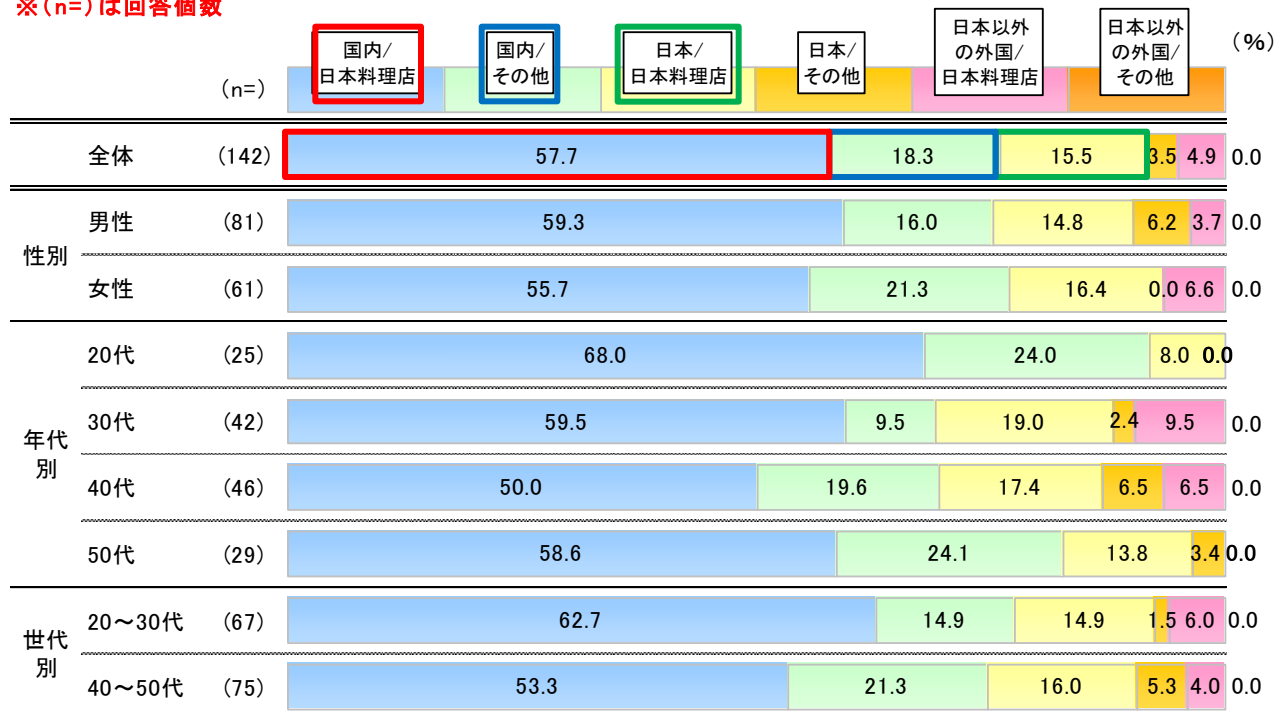
5割超が「国内/日本料理店」。清酒と異なり料理店以外での消費割合が多い

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く57.7%、次いで「国内/その他」が18.3%、「日本/日本料理店」が15.5%となった。
- 年代別で「国内/日本料理店」をみると、『20代』が最も高く68.0%、次いで、『30代』が59.5%、『50代』が58.6%となった。

質問:「あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きします。
飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)」

※本設問は、前問の「日本産緑茶の消費経験」
において「はい」と回答した方のみを対象

※(n=)は回答個数



A20 日本産緑茶を飲んだことがない理由

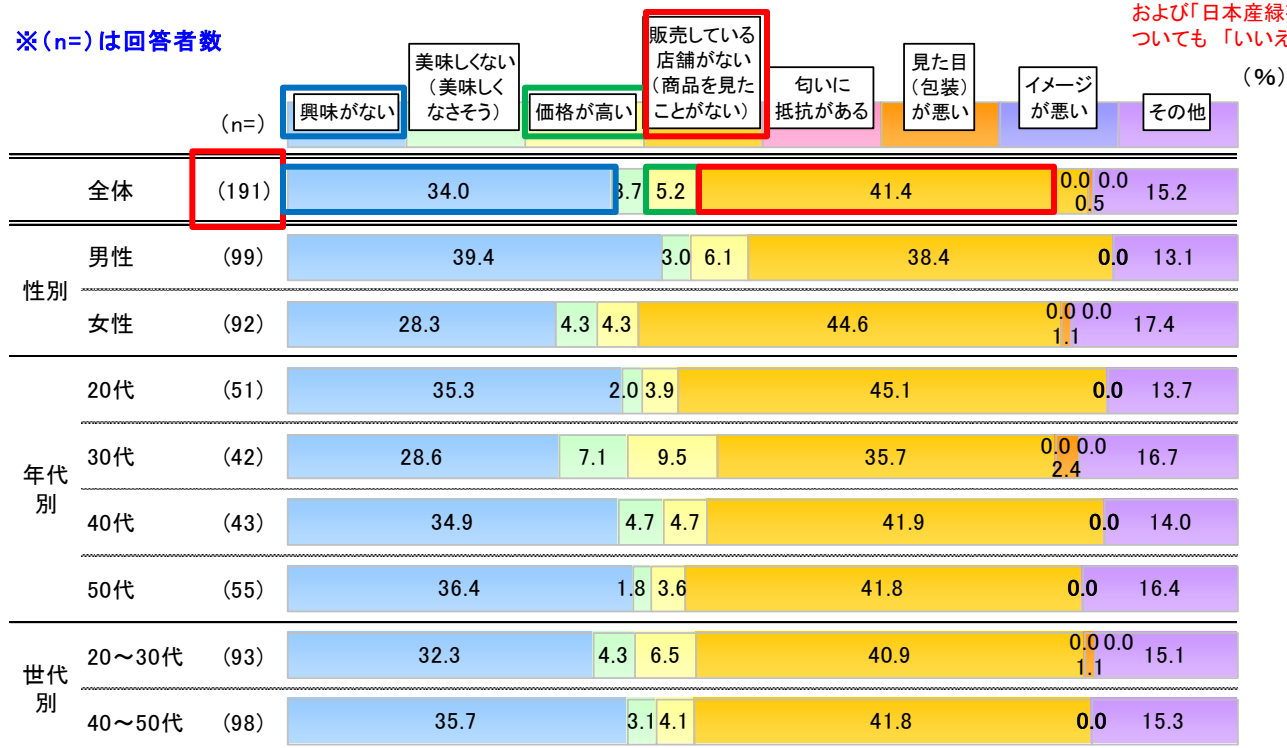
飲んだことがない回答者は191名と多い結果に。理由は「販売店舗を見かけない」

- 全体では、「販売している店舗がない(商品を見たことがない)」が最も高く41.4%、次いで「興味がない」が34.0%、「価格が高い」が5.2%となった。
- 興味を持っている人が少ないのは、飲む機会が少ないこと、競合相手である紅茶・ハーブティーなどの根強い人気あげられる。

質問:「日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのは何故ですか。」

※(n=)は回答者数

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」および「日本産緑茶の消費経験」のいずれについても「いいえ」と回答した方のみを対象



A21 日本産緑茶を飲んだ評価

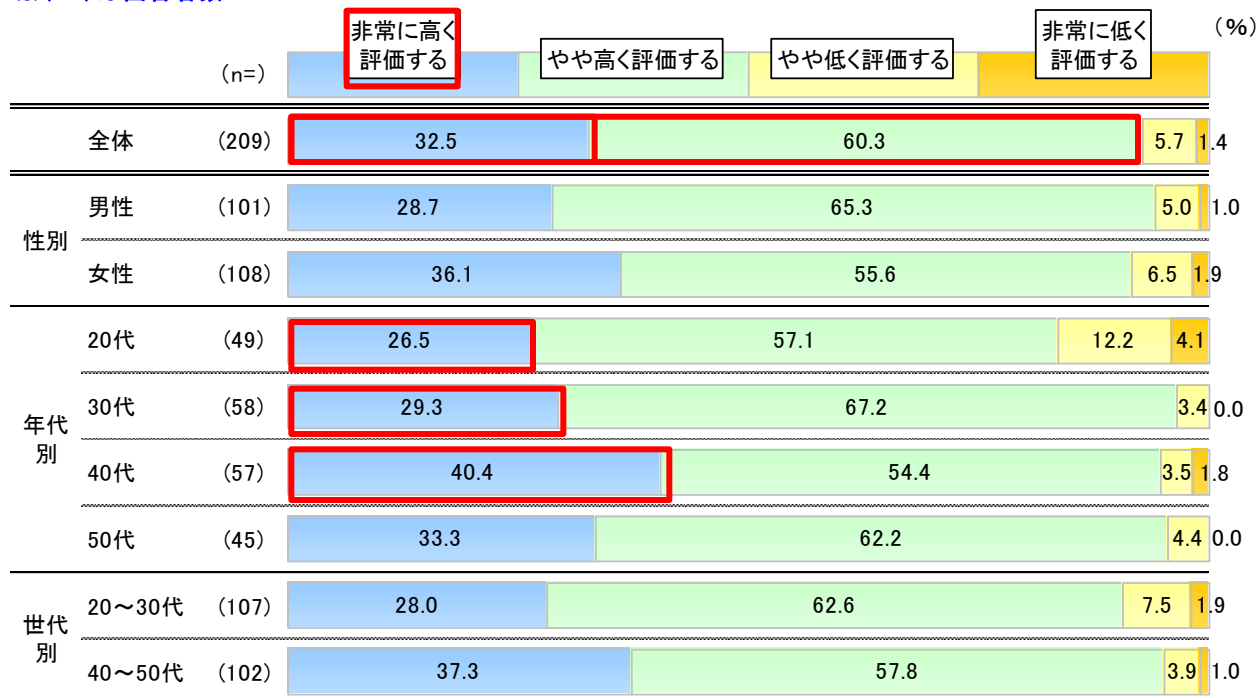
全体で9割超が高評価。「非常に高く評価」する40代の回答割合高い

- 全体では、「やや高く評価する」が最も高く60.3%、次いで「非常に高く評価する」が32.5%、「やや低く評価する」が5.7%となった。
- 性別で「やや高く評価する」をみると、『男性』が65.3%と、『女性』の55.6%を上回った。
- 年代別で「やや高く評価する」をみると、『30代』が最も高く67.2%、次いで『50代』が62.2%、『20代』が57.1%となった。

質問:「日本以外の他産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。」

※本設問は、前問の「日本産緑茶の購入経験」あるいは「日本産茶の消費経験」のいずれかに「はい」と回答した方を対象

※(n=)は回答者数



5. 消費経験があり好きな日本産品に関する設問

- Q22** 日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名、購入用途、評価(4段階)を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。
- Q23** 食べた/飲んだ場所
- Q24** 購入した場合はその用途
- Q25** 食べた/飲んだ際、あるいは購入した際に重視した点
- Q26** 他国産品と比べた場合、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。
- Q27** 日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善して欲しい点)や、日本産食品を買わない理由はありますか。

A22-1 消費経験があり好きな日本産品

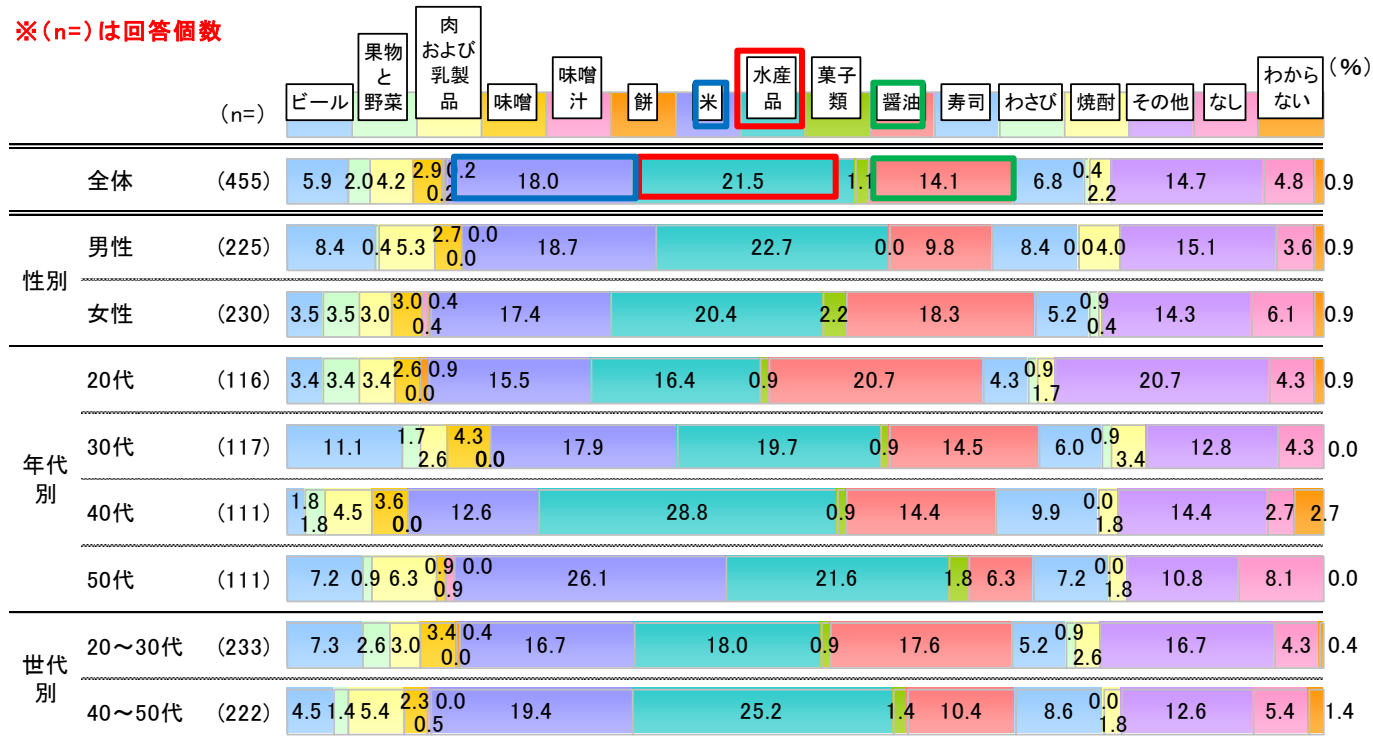
「水産品」、「米」が人気。「醤油」は特に好まれる結果に

- 全体では、「水産品」が最も高く21.5%、次いで「米」が18.0%、「しょうゆ」が14.1%となった。
- 年代別で「水産品」をみると、『40代』が最も高く28.8%、次いで、『50代』が21.6%、『30代』が19.7%となった。
- 世代別で「水産品」をみると、『40～50代』が25.2%と、『20～30代』の18.0%を上回った。
- イタリアの日本食材店で購入できる日本産品は、醤油・味噌・たれといった調味料、インスタントラーメン、酒類、冷凍食品がメインである。水産品で日本産といえ、海苔は常時販売されている。また、米には、漢字で商品名が書かれていてもイタリア産のものもある。原産国を誤認した回答が含まれている可能性があるが、寿司・刺身に関係する米・水産品が上位にあがっているのは妥当である。

質問:「日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。」

例:米、みそ、しょうゆ、焼酎、ビール、菓子類(例:チョコレート、ビスケット、ケーキ、菓子パン、せんべい、まんじゅう他)、果実・野菜(例:りんご、なし、いちご、ゆず、メロン、トマト他)、水産・同加工品(例:マグロ刺身、ブリ、ホタテ貝、サケ)、畜産品・酪農品(例:牛肉、豚肉、ハム、牛乳、チーズ他)

※(n=)は回答個数



A22-2 消費経験があり好きな日本産品

回答個数としては「米」が最多。「醤油」、「寿司」など目立つも、品目数は少ない

質問:「日本産清酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名を教えてください。料理ではなく食材を回答ください。」

品名	回答数
米	82
しょうゆ	63
寿司	30
寿司	28
寿司エビ	1
寿司マグロ	1
ビール	28
ビール	22
アサヒビール	4
サッポロビール	1
日本のビール	1
水産品	28
マグロ	28
サケ	24
天ぷら	17
みそ	12
焼酎	10
牛肉	9
刺身	8
鶏肉	8
鶏肉	4
鶏団子	1
鶏肉の照り焼き	1
焼き鳥	1
フライドチキン	1

品名	回答数
麺類	7
ラーメン	2
出雲そば	1
小麦パスタ	1
スパゲティ	1
海鮮スパゲティ	1
麺	1
寿司ロール	7
巻き寿司	6
太巻き	1
豚肉	7
豚肉	6
とんかつ	1
野菜	6
魚	5
えび	4
煎餅	4
帆立	4
スイーツ	3
おにぎり	2
カツ丼	2
スープ	2
ドラ焼き	2
果物	2
海苔	2

品名	回答数
春巻き	2
豆腐	2
肉	2
カレー	1
ジャスミン	1
しょうが	1
ステーキ	1
チーズ	1
チョコレート	1
ピザ	1
フルーツ	1
ベルガモット	1
ロブスター	1
わさび	1
魚の卵	1
桜餅	1
鯛	1
調味料	1
調理済みの魚	1
おいしい	1
弁当	1
みそ汁	1
揚げ野菜	1
特になし	24
不明	8

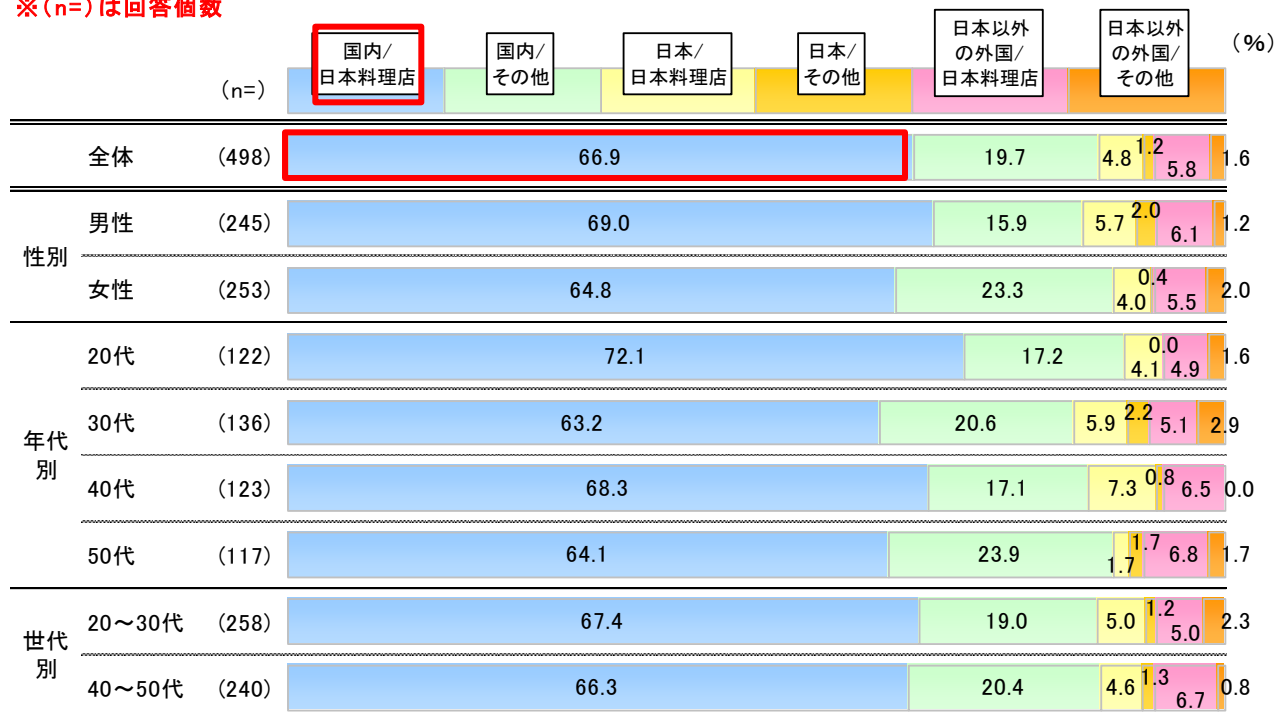
A23 日本製品の消費場所

6割超が「国内/日本料理店」で消費。

- 全体では、「国内/日本料理店」が最も高く66.9%、次いで「国内/その他」が19.7%、「日本以外の外国/日本料理店」が5.8%となった。
- 年代別で「国内/日本料理店」をみると、『20代』が最も高く72.1%、次いで『40代』が68.3%、『50代』が64.1%となった。

質問：「前問で挙げたあなたが好きな日本製品について、食べた/飲んだ場所を教えてください(複数回答可)」

※(n=)は回答個数



A24 日本製品の用途

9割が「家庭用・自分用」に購入。最も低い30代でも8割以上が「自分用」

●全体では、「家庭用・自分用」が91.5%と、「贈答・お土産用」の8.5%を上回った。

質問:「前問で挙げたあなたが好きな日本製品について、購入したことがある場合、その用途を教えてください(複数回答可)」

※(n=)は回答個数

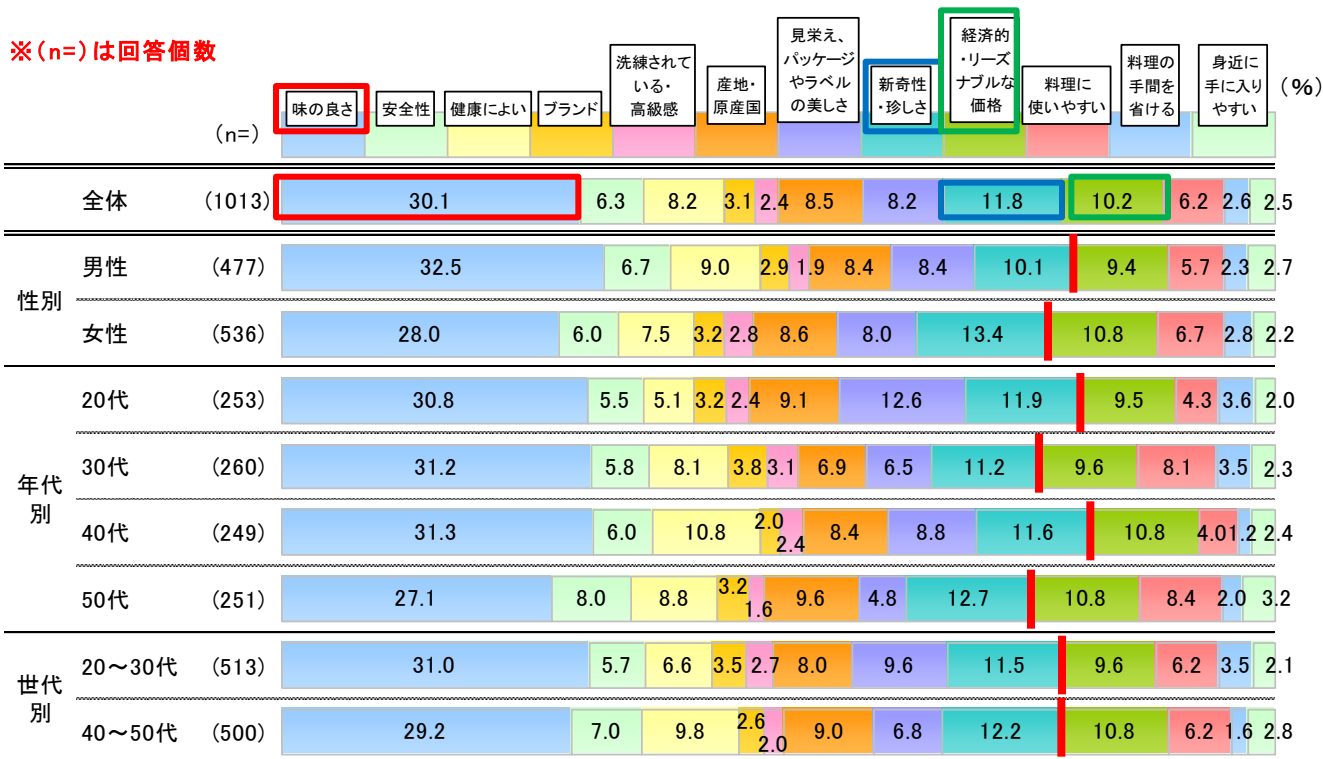


A25 日本産品購入時の重視点

日本産品購入については、「味の良さ」、「新奇性・珍しさ」、「経済性」を重視

- 全体では、「味の良さ」が最も高く30.1%、次いで「新奇性・珍しさ」が11.8%、「経済的・リーズナブルな価格」が10.2%となった。
- 性別で「味の良さ」をみると、『男性』が32.5%と、『女性』の28.0%を上回った。
- 年代別で「味の良さ」をみると、『40代』が最も高く31.3%、次いで『30代』が31.2%、『20代』が30.8%となった。
- 他の本調査対象国・地域の結果と比べると、「新奇性・珍しさ」と回答した割合はイタリアが最も多く、次点である米国の6.6%を大きく上回った。

質問：「前問で挙げたあなたの好きな日本産品について、購入したことがある場合、購入の際に重視した点を教えてください。（複数回答可）」



A26 実際に購入・消費した日本産品の評価

全体で約9割が高評価。20代に厳しい評価が目立つ

●全体では、「やや高く評価する」が最も高く54.0%、次いで、「非常に高く評価する」が35.5%、「やや低く評価する」が9.5%となった。

質問:「前問で挙げたあなたの好きな日本産品について、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。」

※(n=)は回答者数

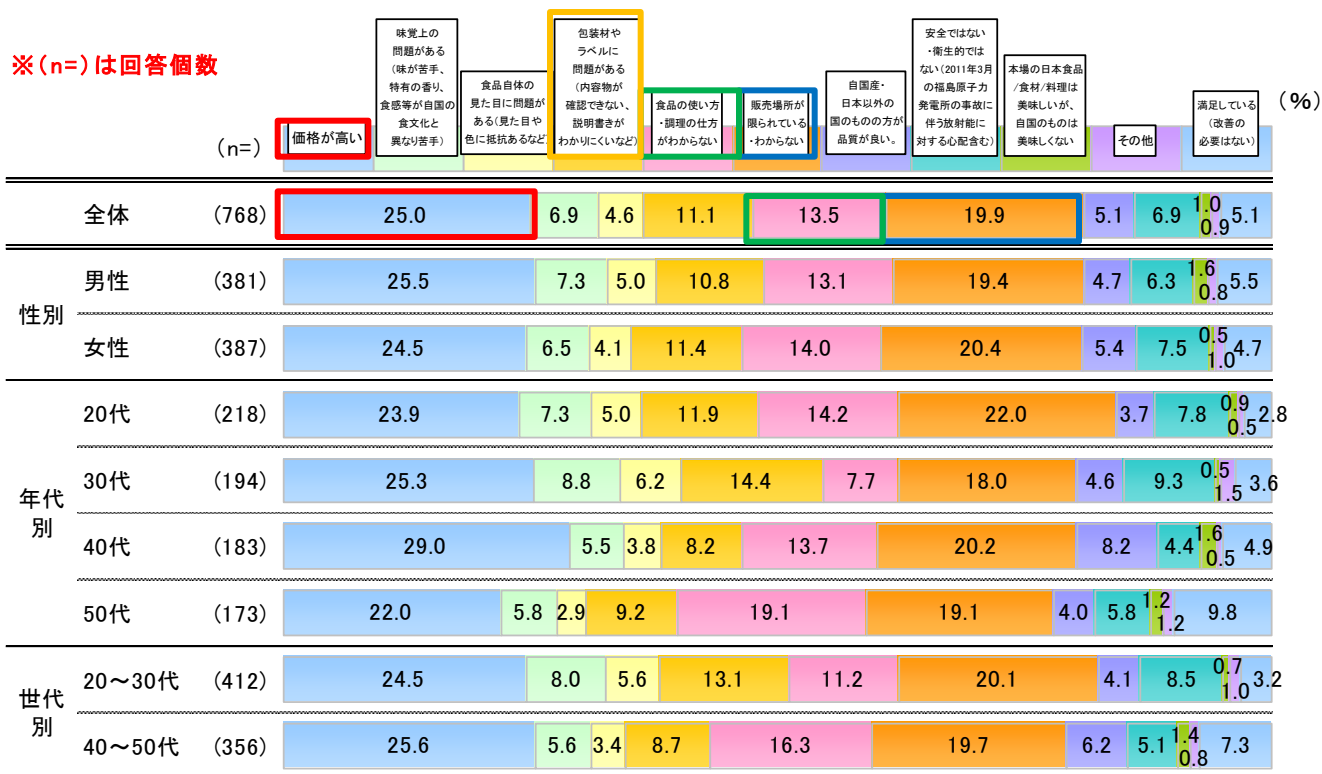


A27 日本産品の非購入理由・問題点

「高価格」、「販売場所がわからない」が課題。「包装・ラベル」についての指摘も

- 全体では、「価格が高い」が最も高く25.0%、「販売場所が限られている・わからない」が19.9%、「食品の使い方・調理の仕方がわからない」が13.5%となった。
- 年代別で「価格が高い」をみると、『40代』が最も高く29.0%、次いで、『30代』が25.3%、『20代』が23.9%となった。
- 全体を他国の結果と比べると、「包装材やラベルに問題がある」の回答割合はイタリアが最も多く、次点である香港の8.3%を上回った。
- 包装材やラベルについては、輸入後にイタリア語表示のラベルを添付するケースが多く、汚れたり元の表示が見えなくなったりと、実際に問題が多い。

質問:「日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善して欲しい点)や日本産食品を買わない理由はありますか(複数回答可)。」



6. 現状輸入が難しい 日本産品に関する設問

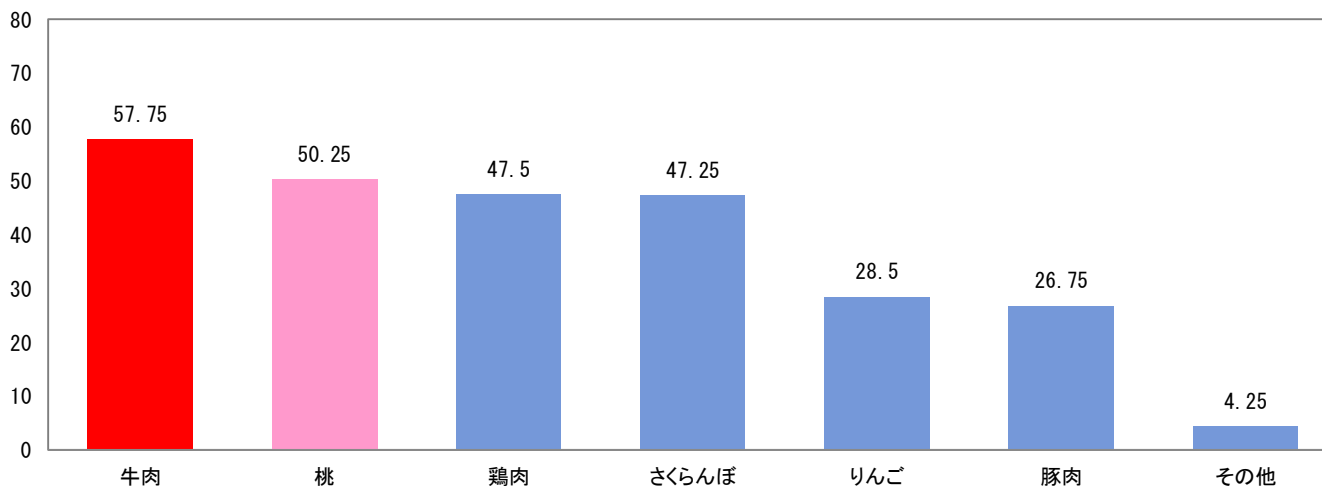
Q28 選択肢にある日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されています。「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください。その他食べてみたい日本産の食品があれば記述してください。

A28 食べてみたい日本産品

「牛肉」の回答多く、次いで「桃」、「鶏肉」が人気

●全体では、「牛肉」が最も高く57.75 %、次いで「桃」が50.25%、「鶏肉」が47.5%となった。

質問：以下の日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されていますが、「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください(複数回答可)。



※本設問は、複数回答可としており、各国の回答者数400に対する回答個数の割合を示した。

設問一覧

No.	調査結果タイトル	設問文
F1	性別	あなたの性別を教えてください。
F2	年代	あなたの年代を教えてください。
F3	日本食購入経験	あなたは過去に日本食品を購入あるいは日本料理店を利用したことがありますか。
F4	日本食購入意向	あなたは今日本の食べ物や飲み物を買って、食べたり飲んだりしたい、あるいは日本料理店に行きたいと思いませんか。
F5	居住国及び居住地域	あなたが現在お住まいの国・地域を教えてください。
F6	国籍	あなたの国籍はどちらですか。
F7	世帯年収	あなたの世帯年収をおおよそで結構ですので教えてください。 (各国事情に合わせて選択肢を設定)
1	好きな外国料理	好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか。(複数回答可)
2	好きな日本料理	好きな日本料理のメニューはどれですか。(複数回答可)
3	好きな寿司ねた・刺身	「寿司」、「刺身」を選んだ方にお聞きします。好きな食材はどれですか (複数回答可)。
4	日本料理店に行く理由	日本料理店に行く理由を教えてください(複数回答可)。
5	食品購入時の重視点	日本食品に限らず、食品一般についてお聞きします。日頃、食品を購入する際に重視する点は何ですか(複数回答可)。
6	輸入食品等購入時の情報源	日本食品に限らず、輸入食品一般についてお聞きします。輸入食品の購入に当たってどのような情報源を重要視しますか(複数回答可)。
7	輸入食品等購入時の情報源 (SNS、サイト名)	「インターネットのクチコミサイト、ブログ、SNS」と回答した方にお聞きします。具体的に参考にされているサイトを教えてください。

設問一覧

No.	調査結果タイトル	設問文
8	日本産清酒の購入経験	あなたは、日本産清酒(日本酒)を購入したことがありますか。
9	日本産清酒の用途	日本産清酒を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)
10	日本産清酒購入時の重視点	日本産清酒を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)
11	日本産清酒の消費経験	あなたは、日本産清酒を飲んだことがありますか。
12	日本産清酒の消費場所	あなたが飲んだ日本産清酒についてお聞きます。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)
13	日本産清酒を飲んだことがない理由	日本産清酒を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
14	日本産清酒を飲んだ評価	日本以外の他国産の酒類(ビール、ワイン、ウイスキー等)と比べた場合、日本産清酒を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階で評価してください。
15	日本産緑茶の購入経験	あなたは、日本産緑茶(ティーバッグを含む)を購入したことがありますか。
16	日本産緑茶の用途	日本産緑茶を購入した際の用途をお教えてください。(複数回答可)
17	日本産緑茶購入時の重視点	日本産緑茶を購入した際に重視した点を教えてください。(複数回答可)
18	日本産緑茶の消費経験	あなたは、日本産緑茶(ティーバッグを含む)を飲んだことがありますか。
19	日本産緑茶の消費場所	あなたが飲んだ日本産緑茶についてお聞きます。飲んだ場所はどこですか。(複数回答可)
20	日本産緑茶を飲んだことがない理由	日本産緑茶を購入したこと・飲んだことがないのはなぜですか。
21	日本産緑茶を飲んだ評価	日本以外の他国産の茶(ウーロン茶、ジャスミン茶、紅茶等)と比べた場合、日本産緑茶を味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。

設問一覽

No.	調査結果タイトル	設問文
22	消費経験があり好きな日本産品	<p>日本酒、日本産緑茶以外で、過去1年間のうち消費経験のある日本産食品の中から好きなものを1つ挙げ、その具体的品目名、購入用途、評価(4段階)を教えてください。料理ではなく食材を回答してください。</p> <p>例:米、みそ、しょうゆ、焼酎、ビール、菓子類(例:チョコレート、ビスケット、ケーキ、菓子パン、せんべい、まんじゅう他)、果実・野菜(例:りんご、なし、いちご、ゆず、メロン、トマト他)、水産・同加工品(例:マグロ刺身、ぶり(はまち)、ほたて、さけ)、畜産品・酪農品(例:牛肉、豚肉、ハム、牛乳、チーズ他)</p>
23	日本産品の消費場所	食べた/飲んだ場所(複数回答可)
24	日本産品の用途	購入した場合はその用途(複数回答可)
25	日本産品購入時の重視点	食べた/飲んだ際、あるいは購入した際に重視した点(複数回答可)
26	実際に購入・消費した日本産品の評価	他国産品と比べた場合、味、見た目、イメージなど総合的な観点から4段階評価してください。
27	日本産品の非購入理由・問題点	日本産食品・食材を購入する際に感じる問題点(改善して欲しい点)や日本産食品を買わない理由はありますか。(複数回答可)
28	食べてみたい日本産品	<p>選択肢にある日本産品は、高品質・美味と定評のある銘柄が数多くあり、日本の消費者に支持されていますが、「食べてみたい」あるいは「家族に食べさせたい」と思う食品にチェックをつけてください。(複数回答可)</p> <p>その他食べてみたい日本産の食品があれば記述してください。(自由回答)</p>